

地獄の戦場

日本守備軍は首里決戦を避け、南部へ撤退し、出血持久戦をとった。

その後、米軍の強力な掃討戦により追いつめられ、軍民入り乱れてた悲惨な戦場と化した。壕の中では、日本兵による住民虐殺や、強制による集団死、餓死があり、外では砲撃、火炎放射器などによる殺戮があった。まさに阿鼻叫喚の地獄絵の世界であった。



▲ ガマの中に避難している住民、子どもの泣き声もれないように口を押さえる母親、そして威嚇する日本兵。



▶ 戦場で犠牲となった人たちの大型写真と砲弾や火炎放射器で焼け焦げた当時の衣服。



証言

沖縄戦の実相を語るとき、物的資料になるものは非常に少ない。無念の思いで死んでいった人々を代弁できるものは、戦争を体験した住民による証言しかない。忌まわしい記憶に心を閉ざした人々の重い口から、後世に伝えようと語り継がれる証言の数々は、歴史の真実そのものである。



▲ 沖縄各地、疎開先、移民した国々での戦争体験証言の部屋。証言映像も見ることができます。



沖縄の戦後は収容所からはじまった。その後、米・ソを軸とした冷戦構造の中で軍事基地として強化されてゆく沖縄。土地を奪われ、抑圧を受けてきた住民の怒りは、島ぐるみの土地闘争や復帰運動へと広がって行く。東西冷戦が終わった今もなお、世界各地にくりひろげられる民衆の悲劇。沖縄の教訓は、「平和の要石」を通して世界へ発信される。



▲ 1960年代、ベトナム戦争の頃の基地の町、Aサインバーや当時の商店（マチャーグラー）が再現されています。



◀ 商店（マチャーグラー）の内部

